

◎ 4 学 年

学級担任	機械工学科	石井 重典
	電気工学科	佐藤 眞一
	電子制御工学科	出口 幹雄
	生物応用化学科	牛尾 一利
	材料工学科	松原 靖廣

1. 基本方針

学生が主体的に学習意欲をもち、自分の進む道を見いだしていけるように、また、社会性においても協力的人間関係、物事への積極性を養っていけるよう努め、学生をサポートしていく。その結果、留年生をできる限り少なくできるよう努める。

1. 1 学習意欲の向上を計る。
1. 2 学生自身による進路の具体化を促進する。
1. 3 社会性の育成を計る。
 - ・おおむね計画は実施できた。

1. 平成16年度実施計画

2. 1 学習意欲の向上に関して；

- [1] 4年の成績で就職・進学が大きく左右されることをよく説明して学習意欲を喚起する。
- [2] 学習教育目標の説明を行う。
- [3] 年間目標の作文指導を行う。
- [4] 欠課・遅刻が多い学生には直接注意の他、家庭や寮との連絡協力を行う。
- [5] 成績不振者は個別面談、オフィスアワー活用を励行する。
- [6] 学生との会話を絶やさないように心がける。
 - ・上記の1～6については、十分実施できた。

[7] 成績不振者へアルバイト自粛指導を行う。

- ・アルバイト報告がないため実態がつかめず、言葉が悪いが「疑わしい」学生には注意をした程度に留まった。

2. 2 学生自身による進路の具体化促進に関して；

- [1] 進路調査を春（面談時）、秋、冬の3回ほど実施する。
 - ・実施した。冬にはほぼ固まった模様だが、一部まだ迷っている学生もいる。
- [2] 1月でも未決定の場合保護者とも懇談を行う。
 - ・実施した。どこに進学しようかといった悩みはほぼ懇談で方向が決まってきたと思うが、就職か進学か「一応決めた」がまだ迷っている場合もある。
- [3] 個別の指導カードの作成・記入を行う。
 - ・学校としての「様式」も定まらなかったようで、（またあまり必要に迫られるケースも少なく）不十分に終わったと思う。
- [4] インターンシップ完全実施を通して、学生自身の進路決定に資する。
 - ・完全実施した。

- [5] 受験可能編入学先を配布・掲示する。
 - ・早い時期に教務から昨年度の資料をもらい配布できた。
- [6] 実力試験（進路調査もかねる）受験指導。
 - ・ほぼ全員受験
- [7] 会社説明会への積極的参加指導。
 - ・全員積極的に参加できた。

2. 3 社会性の育成に関して；

- [1] 日直・週番による教室美化指導、授業時の挨拶指導。
 - ・実施した。
- [2] インターンシップや各種講演会出席時の事前のマナー指導。
 - ・全員に注意書きを配布し説明した。今年は会社でのトラブルはなかったように思う。
- [3] 環境委員会主導の美化活動の実行。
 - ・春と秋の年2回実施した。
- [4] 学習や悩み等に応じた読書の奨励。
 - ・学生に応じ実施した。
- [5] 盗難が起こるような状況を作らないよう指導する。
 - ・貴重品をころがしておかないよう指導した。幸い盗難事件は起こらなかった。
 - ・上記の1～5に関してはほぼ完全に実施できた。

3. 推進体制

- 4年担任の担任会において、相互に緊密な連絡・協力を行う。
 - ・順調に実施できた。

4. 活動計画

- 4. 1 通常は、必要事項は担任間のメール会議で連絡をとりあう。インターンシップ打ち合わせ等の必要時は連絡コーナー等に集まり協議する。
- 4. 2 個別学生の課題については必要に応じて、保護者、学内関連教官との連絡を密にとっていく。

○ 総合的な評価と課題

基本方針である「学生が主体的に学習意欲をもち、自分の進む道を見いだしていけるように、また、社会性においても協力的人間関係、物事への積極性を養っていけるよう努め、学生をサポートしていく。その結果、留年生をできる限り少なくできるように努める。」については、おおむね計画は実施できた。まだ、留年状況ははっきりしないが、だいたい各科0～数名以内に収まった模様である。ただ、高学年の自覚がなくカンニングで留年となった学生が1名いたのは残念であった。アルバイトの指導は難しかった。報告の動機付けがなく呼びかけても応じてくれない学生が多かったものと思われる。幸い、アルバイトが原因で学業が明らかにおろそかになっていると感じた学生は少なかった。個別の指導カードの作成・記入についてはメモ程度のものしか作成できなかった。